

理事長ご挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解ご協力ありがとうございます。

「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」を無事に開催できました事、ご報告させていただきます。多くの個人団体のご支援により開催することができました、心より感謝申し上げます。

私どもは、自分の考えを持ち、他者の考えを認め、社会で率先して役割を担う、自立した人々が協力する社会、「自立型共生社会の実現」を理念に活動しています。

このキャンプは、自然とのふれあいにより五感を磨き、人とのふれあいにより対話力を養うことを目的に実施しています。キャンプ体験が、参加する児童や学生リーダー、スタッフの自立心、共助心を培う一助となれば幸いです。

今後とも、ご支援の程よろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 シンク・イー 理事長 喜多 隆正

キャンプディレクターより

現代社会は、都市化・グローバル化・情報化等が進んだことにより、教育に関する課題も新しいものになってきています。子どもたちの身体は昔と比べ大きくなったにも関わらず、運動能力は横ばいまたは減少しているとも言われています。また、核家族化の進行やプライバシーの尊重がされ始め、学校や家庭以外の人々と接する機会が減り、コミュニケーション力が育ちにくくなっていたり、反対にネット上のリテラシーが必要になってきていたりします。そのような課題解決の一助となるため、私たちは以下のようなことを念頭に当事業を行っております。

・自然体験

わんぱく KIDS では山・川・海といった自然に囲まれて過ごします。自然は気持ちよさや心地よさを与えてくれるだけでなく、時に災害や事故を引き起す怖いものでもあります。このように「自然」とむきあうことは日常ではなかなかできない体験です。

・生活体験

キャンプという空間であえてパソコンや携帯電話などといったものがない生活をする中で、参加者たちは自分たちで考え、自分たちで行動し、様々な創意工夫が生まれます。

・社会体験

わんぱく KIDS では通っている学校や学年ができるだけバラバラになるように班分けをしています。日常生活とは違い、知らない人、違う学年、少し大人のボランティアたちと協力しながら過ごすことで、自分のできることを知ったり、人にやさしくしたりすることができます。

・チャレンジ体験

これまでの3点は子どもたちにとって大きなチャレンジ体験となります。様々なチャレンジのなかから、失敗したとき、次はどうすればいいかを考え、成功すれば、それを自信とし成長することができます。

そしてわんぱく KIDS は合言葉になっているように「**自分でできることは自分です**」というのが大前提です。身の回りの整頓はもちろん、清掃やベッドメイク、自分たちが飲む水筒のお茶の準備など、子どもたち自身が行いました。

お子さまが帰宅後になにかできることが増えていたら、ぜひ褒めてあげてください。そしてそれが日常でも活かせるよう継続してご支援いただければ幸いです。

またこの事業には「ボランティアの育成」という目的も含まれています。彼らはお子さんたちの成長のため、そして自分たちの成長のために、夏休みという大切な時間を使ってきてくれました。まだ未熟な彼らではありますが、次世代を担う大切な人材です。引き続きボランティアたちには敬意をもって厳しくも温かい目で接して頂きたく存じます。

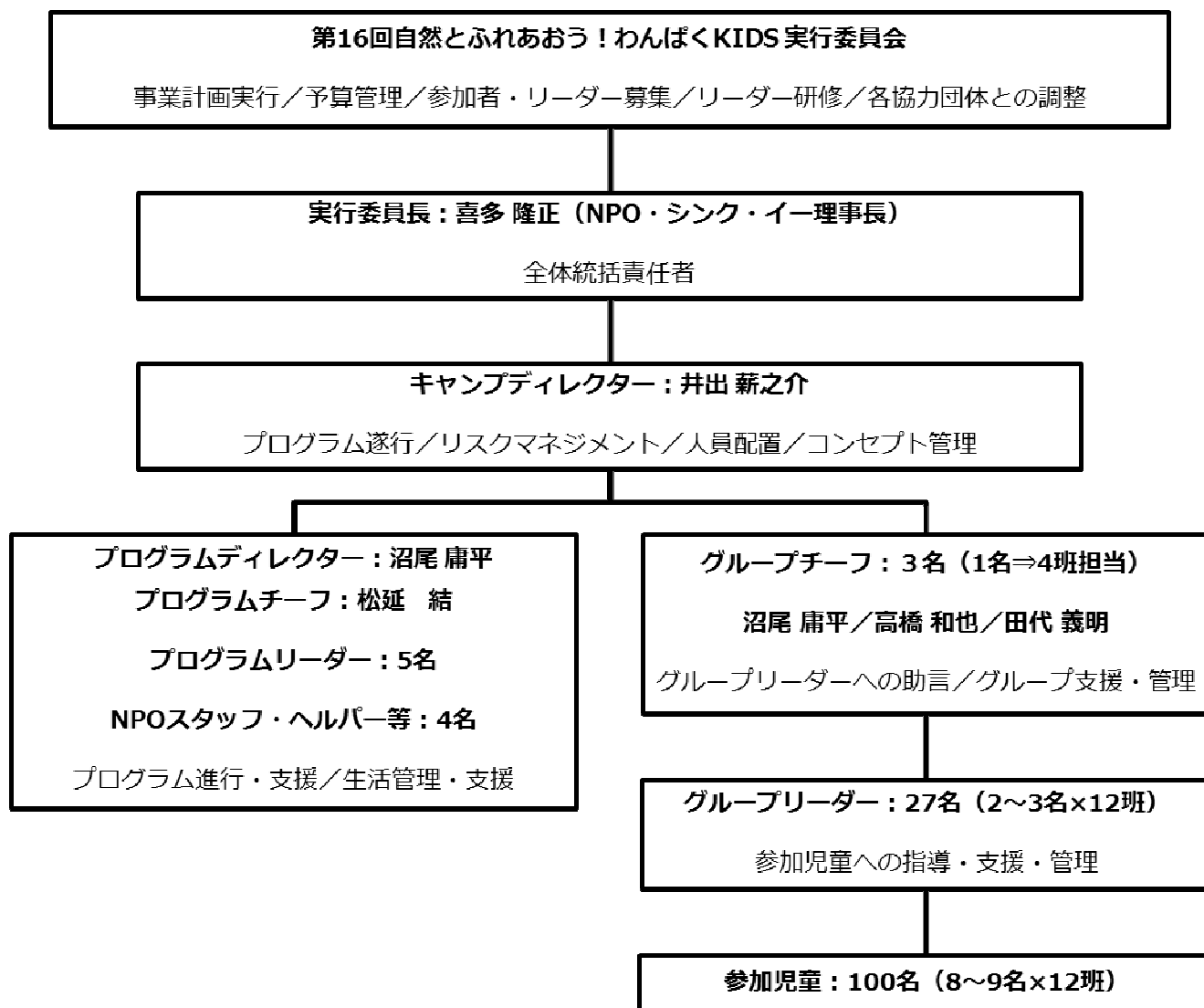
さらに当事業では来年以降、ボランティアの発展性の向上と充実を目指して、これまで参加してくれたことのある中学生・高校生などの「ジュニアボランティア」の募集を予定しております。6年生の保護者の方は今から来年のご参加をご検討ください。これからも当会ならびに当事業にご支援・ご協力のほど、宜しく申し上げます。

キャンプディレクター 井出 新之介

実 施 概 要

構成団体	主 催 特定非営利活動法人 シンク・イー 後 援 中央区教育委員会 特定非営利活動法人 東京中央ネット 協 力 中央区立宇佐美学園 公益社団法人 小田原青年会議所 特定非営利活動法人 宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会 一般社団法人 シーフードスマート 江戸東京再発見コンソーシアム
主催団体 理念	「自立型共生社会の実現」
事業名称	第 16 回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」IN 宇佐美
事業目的	青少年の健全育成・ボランティアリーダーの育成
事業コンセプト	「自分でできることは自分です。できないことは助け合う。」
開催日程	平成 27 年 8 月 6 日から 8 月 10 日 4 泊 5 日
開催拠点	中央区立宇佐美学園とその周辺地域及び小田原・湯河原地域
事業概要	子ども：3～6 年生の男女各 1～2 名 リーダー：2～3 名 合計 10～12 名で 1 つの班を構成。全 12 班。 班別行動を基本とし、豊かな自然環境の中で海・山・川のなどの各アクティビティを体験する組織キャンプ。寝室は学年を考慮した男女別の 8 室。
参加児童	中央区在住・在籍の児童 3～6 年生 計 100 名
ボランティア人員	大学生・大学院生 27 名（文教・帝京など） リーダーOB 5 名 地域の方 4 名（宇佐美・湯河原地域） NPO・協力団体 7 名 宇佐美学園職員 約 20 名
問い合わせ先	特定非営利活動法人 シンク・イー MAIL： kids2015@tokyochuo.net TEL：03-6661-0843
写真&報告書 DL	URL： http://www.tokyochuo.net/meeting/kids/jigyuu/wanpaku2/index.html 「わんぱく KIDS 宇佐美」で検索 (9 月中旬ごろまでにアップ致します)

組織・役割



プログラムのポイント

■わんぱく KIDS の約束

- 1、自分でできることは自分でしよう！
- 2、ひとりでできないことは助け合おう！
- 3、あいさつをしよう！
- 4、身の回りはきれいにしておこう！
- 5、生き物はたいせつにしよう！
- 6、リーダーになんでも相談しよう！

■方針

生活重視（あいさつ・清掃・整理整頓・履物をそろえる・身体をよく拭いてから浴室を出るなど）

■食事

手をつける前に自分の食事量を考慮し、同じテーブルのお友達とシェアをし、残さないようにする。嫌いなものは目標量を決めて食べる努力をする。

■班旗づくり

自分の目標と班の目標を旗に描き発表、期間中の班旗とし、班の仲間としての意識を高める

■山・川・海での自然体験

都会で出来ない体験により自然への理解を深める

自然での遊びを通じて常にチャレンジをし、成功・失敗体験をする

■カレーの食材買い出し

きまりの中で理想を実現しようとする思考・工夫、経済的自立への気づき

■江戸城石丁場遺跡散策

身近な地域からの歴史理解(中央区と宇佐美のつながりなど)

■ひものづくり・食育ガイダンス

他の生き物の命をもらって生きていることということへの気づき

家族をはじめ多くの人たちの労力があって食べ物があることの意識付け

自己・他者を大切にすることの重要性の認識

■カレーづくり

役割を分担し、目標に向かって全員で活動することの楽しさと重要性の認識

■思い出発表会・キャンドルファイヤー

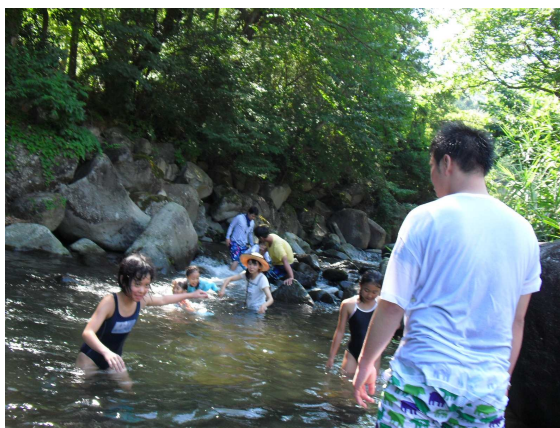
最後の夜にこれまでの思い出を発表し、全体の一体感と達成感を高め、キャンプの収束とする

5 日間の様子

1 日目 (8月6日)	
朝	T-CAT 集合 (7:30) トイレ休憩 (海老名 S.A) 幕山公園着 オリエンテーション レクリエーション 川遊び
昼	昼食 (弁当) レクリエーション 川遊び 宇佐美学園着 入所式 入浴 夕食
夜	旗づくり 消灯 (21:00) リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤

- ① 湯河原幕山公園でのオリエンテーションの様子
- ② 幕山公園での川遊び体験 冷たい水でも大はしゃぎ
- ③ 長い坂道を自分の荷物をもって宇佐美学園へ
- ④ 各班でわんぱく KIDS の目標を班旗に記しました
- ⑤ 班旗発表会の様子

	2日目 (8月7日)
朝	起床 朝のつどい (7:00) 朝食 清掃 宇佐美海岸着 磯浜あそび
昼	昼食 (弁当) 磯浜あそび 宇佐美学園着 入浴 夕食
夜	宇佐美の歴史・石丁場遺跡講演 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

- ① 朝のレクリエーションの様子
- ② 天気に恵まれ最高のロケーション！
- ③ 海水浴の様子①
- ④ 海水浴の様子②
- ⑤ 磯での生態観察
- ⑥ 最後はたくさん遊んだ浜辺で感謝のゴミ拾い
- ⑦ 3日目の裏山散策で巡る遺跡の講演を受けました！

3日目 (8月8日)	
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃 判別行動 (ローテーション) ・裏山遺跡散策 ・カレー食材買い出し ・プール
昼	昼食 判別行動 (ローテーション) 入浴 夕食
夜	おたのしみ会 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④

- ① 裏山の遺跡散策 刻印や石切の跡にびっくり!
- ② 毎年プール遊びは大盛り上がりです
- ③ カレー作りの食材買い出し 各班色々なこだわりがありました
- ④ 夜のお楽しみ会の一コマ 今年は6年生が考えたゲームのコーナーもありました

4日目 (8月9日)	
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃 ひものづくり 食育講演 (生田與克)
昼	昼食 カレーづくり 入浴 夕食 (カレー) 入浴
夜	発表会 キャンドルファイヤー 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤



⑥

- ① アジの開きづくりに挑戦！ 次第にいい手つきに！
- ② カンカン照りの日差しで天日干し！
- ③ 生田與克氏による講演 命の大切さを学びました
- ④ カレーづくり みんな真剣な表情です
- ⑤ 各班おいしいカレーができました！
- ⑥ キャンドルファイヤーの様子 5 日間の思い出を振り返りました

	5日目 (8月10日)
朝	起床
	朝のつどい
	朝食
	大掃除
	退所式
	宇佐美学園出発
	トイレ休憩 (新島ドライブイン)
	石垣山一夜城歴史公園到着
	自由行動



昼	昼食 (弁当)
	トイレ休憩 (海老名 S.A)
	T-CAT 解散 (16:30)

<プログラムディレクター報告 (NPO・シンク・イー 沼尾 庸平)>

本年度のわんぱく KIDS は天候にも恵まれ、5日間すべてのプログラムを予定通り行うことができました。カレーの食材買い出しや、各プログラムの準備、6年生によるレクリエーションの運営などこれまでスタッフが行っていたものの子供たちに任せました。昨年までよりもさらに、「自分でできることは自分でする、できないことは助け合う」活動が多い中でも子供たちは工夫し、助け合い、楽しみながら5日間を過ごしていました。

特にカレーの食材買い出しでは、みんながおいしく食べるためにはどうしたら良いかと真剣に材料や役割を話し合い、5・6年生がリーダーシップをとって班をまとめていました。キャンプの中で班をまとめながら自分たちの活動もこなした5・6年生は5日間で自分の立場を自覚し、大きく成長したように思います。また3・4年生が率先して役目をこなしている様子からは逞しさを感じました。5日間でそれぞれが成長できたのではないかと思います。

自然体験、班活動、各レクリエーション、慣れない場所での生活、これだけたくさんのプログラムの中にありながら毎日いきいきと活動し、頑張ったことは、子供たち自身にとって良き経験であり、良き思い出であると思います。保護者の皆様にはキャンプでの子供たちの成長を褒め、今後の生活につなげていただければと思います。今後も「自立型共生社会の実現」のため子供たちが楽しく活動し成長を感じられるプログラムを研究していきます。宜しくお願い致します。



<プログラムチーフ報告 (ボランティア 松延 結)>

今回は、プログラムチーフとして運営を務めさせていただきました。これまでのわんぱくキッズで感じたことは、このキャンプでリーダーに求められているものは子どもの安全管理や、基本的な生活習慣の指示等だけでなく、いかにして子どもたちに自身の成長を実感させられるかだと感じました。初日できなかったことが5日目にはできるようになっていた、自分ひとりで頑張った、などの達成感を感じられるように、身近でリーダーが見守り、サポートすることが大切です。そして、リーダー側は、この子供たちの成長を目の当たりにすることで、これまでになく感動を覚えます。教職を志す者として、若いうちにこのような経験をさせていただけることに、わんぱくキッズの魅力を感じています。

学校生活では、5日間も集団の中で生活を送るという経験はなかなかできません。

この4泊5日間は、子どもたちにとっても、我々リーダーにとっても非常に大きな成長が見られる期間です。実際、リーダーとして4年目の自分は大きく成長しているように感じていました。しかし、今回の運営も、多くの方に支えられることでやっと乗り越えることができたという状況です。自分自身の成長にもつながるわんぱくキッズには非常に感謝しています。この経験を生かし、学び続ける姿勢を大切にしていこうと感じました。



協賛・寄付

(株)隅田屋商店	小坂こども元気クリニック
伊豆山漁業(株)	東京空港交通(株)
(公社) 東京青年会議所 中央区委員会	(株)ネオ・コミュニケーションズ
(株)ロイヤルパークホテル	古屋法律事務所
(株)小川商会	(株)サヨカ
昭和工機(株)	(株)サプル
協立工業(株)	松井建設(株)
下目黒歯科内科	朋和商事(株)
永塚パートナーズ法律事務所	(株)マウンテン・ワン
JP ホーム (株)	(株)セントラルエステート
タチバナエステート(株)	(株)中央コミュニティー
天麩羅 天音	

(※順不同 敬称略)

<当報告書に関するお問い合わせ先>
特定非営利活動法人 シンク・イー
Tel: 03-6661-0843
Mail: kids2015@tokyochuo.net